

2019年6月吉日

医療機関関係各位

「病院の働き方改革」第3回懇談会

～職員がイキイキ・ワクワクする自律組織体質を創る「働き方改革」とは？～

hrms-jp 医療人事労務マネジメント研究会

代表 社会保険労務士 河北 隆

さて早速ですが第3回懇談会のご案内を申し上げます。多数のご出席をお待ちしております。

記

1. テーマ

「誰もが仕事にやりがいと誇りを感じ、目を輝かせて健全に働くことができる」ような真の意味での「働き方改革」の進め方について

2. 講師 (Keynote speaker)

患者サービス研究所代表 三好 章樹氏

【経歴】

1965年生まれ。東京都出身

医療機関職員養成専門学校にて教職員、CROにて人材事業部、健診センターにて事務課長などに従事。2005年、患者サービス研究所を開設。

患者サービス研究所代表、東京都医療勤務改善支援センター医業経営アドバイザー

【患者サービス研究所】

2005年開設。

研修事業

接遇研修「職員も楽しい、患者さんも嬉しい、心に響く瞬間の創り方」、管理職研修、クレーム対策研修、新入職員研修、グリーンケア研修など

コンサルティング事業

指示命令をしなくても現場がみずから気づき考え行動する『自律進化組織』づくり「HIT-Bitプログラム」

【著書】

『病院・クリニックの現場改善マニュアル』（ばる出版）

『医療現場を変える接遇力』（共著 / 医療タイムス社）

『医療接遇スーパーバイザー実践読本』（日総研出版）

『結果にコミット/自律進化組織が6ヶ月で生まれる方程式』（ブックレット）

【連載実績】

『病院羅針盤(産労総合研究所)』、『Phase 3(日本医療企画)』、『看護人材教育(日総研出版)』、『CLINIC BAMBOO(日本医療企画)』、『医療タイムス-間違いだらけの患者接遇(医療タイムス社)』、『MEDICAL LEPIOS(オアシス)』、『主任&中堅+こころサポート(日総研出版)』、『月刊保険診療(医学通信社)』、『神奈川県保険医新聞(神奈川県保険医協会)』、『病院安全教育(日総研出版)』、『医療タイムス-グリーンケア(医療タイムス社)』、『千葉県保険医新聞(神奈川県保険医協会)』、『人事マネジメント(株式会社ビジネスパブリッシング社)』ほか。現在、『医療タイムス-組織改革(医療タイムス社)』連載中。

3. 開催日時・場所

2019年7月18日(木) 18:00~20:00

千葉市民会館・3階第6会議室 <http://www.f-cp.jp/shimin/access-location/access.html>

4. 参加料

おひとり1回2,000円を当日会場にて頂戴します。

5. 参加申込

電子メールにて下記あて「第3回懇談会へ参加」の旨ご一報下さい。〈定員次第締切〉

hrms@grace.ocn.ne.jp 河北

<講演(Keynote Speaking)趣旨>

一般に、ワークライフバランス、働き方改革といえば、待遇面の制度設計をすることが常識のようになっていきます。しかし、考えてみれば、それは、「仕事はつらくて大変なものだけれど、待遇を良くするので我慢して働いて欲しい」という価値観を前提としていることにはならないでしょうか？そして、そのような価値観の経営者・上層部のもとで、いったい誰が、仕事にやりがいと誇りを感じ、目を輝かせて健全に働くことができるのでしょうか？

本当に職員が幸福に働いている時とは、「この仕事、理屈じゃない魅力がある」「この職場にはお金では買えない瞬間がある」と、むしろ寝食を忘れるほど、熱中している時ではないでしょうか？

働き方改革というならば、待遇や条件を加工することではなく、職員が仕事に対するやりがいと誇りを感じ、日々心に向けて業務に臨めるような環境を創ることが大事なのではないのでしょうか？

では、人はどんな時に心が明るくなり元気を得ることができるのでしょうか？それは、自分の価値観を解放できている時だと言えるでしょう。言いたいことが言えてやりたいことがやれる人的環境(人間関係)で、自分の信じる通りに行動できることではないでしょうか。それはすなわち、自律組織です。そんな組織体質になった時、職員はみずから気づき考え行動することが、生き活きと働くことができるのではないかと思います。

本講では、自律組織体質を創るための、最短最速のシンプルな方法について、具体的にご紹介いたします。

以上